

# 核の脅威と被害のない世界を 山口から

## — ヒバクの実相, ヒバクシャ支援と核兵器廃絶 —

- 日時: 2015 年 8 月 1 日(土) 10:00~16:30
- 会場: カリエンテ山口(山口婦人会館; 山口市湯田温泉5丁目)
- 主催: 原水爆禁止 2015 年世界大会・科学者集会実行委員会

### ◇実行委員長よびかけ

広島・長崎の被爆から 70 年という節目の年に、「原水爆禁止 2015 年世界大会・科学者集会」(略称:科学者集会)が「核の脅威と被害のない世界を」をテーマに山口で開催されることになりました。1987 年から始まった科学者集会は、原水爆禁止世界大会に付随する集会として、全国の都市を巡回して開かれてきました。

人口比で被爆者が全国で 3 番目に多い山口県では、山口県原爆被害者団体協議会(山口県被団協)が単一の組織として活動を続け、また、山口県原爆被爆者支援センター「ゆだ苑」は原爆被爆者支援活動と平和活動を推進する法人組織として 1968 年設立以来、半世紀近く活動を続けています。被爆者数の高齢化による減少が進む中で、原水爆禁止運動と被爆の実相を伝える活動の継承が大きな課題となっています。

我が国では、広島、長崎、ビキニ、そして福島で度重なるヒバク(被爆/被曝)を経験しながらも核廃絶へと踏み出すことなく、米国の「核」の下で原発の再稼働と核燃料サイクルの政策の継続が図られています。原発運転～廃炉で生み出される大量の放射性廃棄物の処分法と処分地の決定には国民的合意が不可欠で、科学者の役割も問われています。

被爆者のメッセージである核兵器の非人道性は世界的に共有され、定着しています。昨年は、国連の委員会で提案された「核の不使用声明」に 155 ヶ国が署名しました。今年は国連の核不拡散条約(NPT)再検討会議で発表された「核兵器の人道上の影響に関する共同声明」に日本を含む 159 もの国が賛同しましたが、その中には核兵器保有 5 ヶ国が含まれていません。一方、国際紛争に核兵器使用の準備をしていたという国の指導者の発言を考えると、核兵器の存在は人類の平和的生存と発展に対して大きな脅威となっていると言わざるを得ません。

昨年 7 月、「集団的自衛権」行使容認の閣議決定がなされ、それに基づく「安保関連法案」が国会で審議されることになっています。憲法 9 条に基づいて「もう戦争をしない」とした国の「形」が大きく変えられようとしています。この厳しい展開の中で、山口県下では岩国基地の拡張と再編強化がなされています。

科学者集会では、原水爆禁止運動に関わる課題のみならず、基地に関する諸問題と集団的自衛権に関わる課題についての報告も予定しています。

こうしたテーマに関心のある広汎な科学者、市民、学生の皆さん、「核のない、戦争のない、平和な世界」をめざして大いに語り合い学び合ひましょう。様々な分野の皆さんの参加ならびにご支援をお願い申し上げます。

2015 年 5 月 22 日

実行委員長 田澤輝武(日本科学者会議山口支部)

## ◇集会コンセプト

原水爆禁止運動は人類を核戦争・核兵器開発の脅威から解放し、平和で豊かな世界の実現を目指して活動を進めてきた。国連の場で核拡散防止条約(NPT)再検討会議が行われる傍らでは国際紛争に核兵器使用をも辞さないとする大国指導者の発言があるなど、核兵器は地上すべての生物の存亡に関わり続けている。

わが国では東日本大震災で重大な放射能汚染事故を経験し、汚染水処理・原発廃炉への見通しも立っていないにもかかわらず、原発の再稼働、建設と核燃料サイクル政策の継続が図られており、放射能事故のリスクが高まっていることは憂慮のいたりである。

今回、科学者集会は人口比で3番目に被爆者が多く、また核攻撃能力を持つ米軍基地の再編強化が進められている山口県で開催される。原水爆禁止・被爆者救援運動の継承をはかり、戦争を全面的に放棄する憲法九条の理念を広める契機となることを期す。

## ◇プログラム（報告の順番は未定です）

開会, 実行委員長挨拶, 集会メッセージ

第1報告: 集団的自衛権の深層——日米核同盟の果てに (瀬瀬 厚/山口大学)

第2報告: 原爆と原発事故の放射能被曝の差異と共通点  
(岡本良治/日本科学者会議福岡支部)

第3報告: 東北の放射能汚染と地域再建の課題  
(菅野偉男/完全賠償させる福島県北の会)

第4報告: 山口の被爆者救援——ゆだ苑の40余年の活動の軌跡 (岩本 晋/ゆだ苑)

第5報告: 岩国の基地拡張・配備再編の諸問題 (吉岡光則/山口県平和委員会)

第6報告: 民間人戦争被害に対する対策の歴史 (井竿富雄/山口県立大学)

第7報告: 核兵器廃絶の道 (外国からの報告)

総合討論

まとめ, 閉会挨拶

## ◇集会の進め方

分科会形式は取らず、すべて全体会で行います。

「総合討論」での発言(原則, 3分以内)をご希望の方は、「参加申込書」に必要事項を記入して提出してください。なお、時間の都合で発言できない場合もあります。

#### ◇参加申し込み

「参加申込書」に必要事項を記入して、以下の申込み先まで送付してください。当日の参加も受け付けます。当日資料代千円(学生は五百円)を予定しています。

#### ◇募金・参加申込・問合せ先

原水爆禁止 2015 年世界大会・科学者集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階 日本科学者会議 気付

TEL : 03-3812-1472 FAX : 03-3813-2363

e-mail : mail(at)jsa.gr.jp

#### ◇集会ウェブ

最新情報は右の URL をご覧ください。 <http://jsa-yama.at.webry.info/>

#### ◇その他

・会場案内は <http://www.y-caliente.jp/> を参照してください。地図は下図のとおりです。

・近くには食堂はありません。昼食弁当および懇親会(会議終了後)予約は参加申込書で承ります。

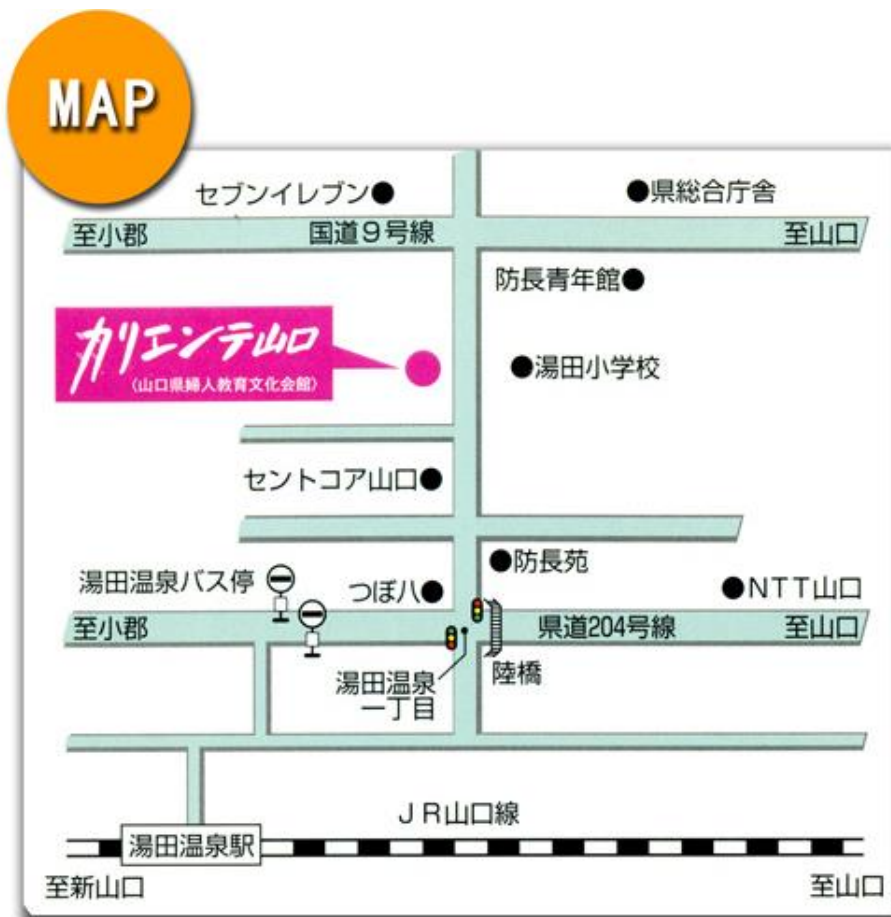
・7月28日～8月8日には第23回世界スカウトジャンボリーが山口市内で開催され、混雑が予想されるので、宿舎等は各自で早めの予約手配をおすすめします。

宿泊、観光案内

山口県観光連盟 (<http://www.oidemase.or.jp/>)

湯田温泉旅館協同組合 (<http://www.yudaonsen.com/guide/>)

共済組合関係の宿泊所・保養所もあります。



**原水爆禁止 2015 年世界大会・科学者集会 in 山口 参加申込書**

氏名：	所属・肩書／専門分野：
連絡先 住所：〒	
TEL:	e-mail :
会場から発言される場合、そのテーマなどをご記入ください。	
予約の方は○をつけて下さい 昼食弁当 懇親会	備考：

**賛同・支持募金のお願い**

集会は募金でまかなわれますので、別紙に案内のように 1 口 2 千円以上でのご協力をお願いします。また、賛同・支持表明をお願いしています。

賛同・支持募金をいただいた皆様のご芳名は、従来通り公表したいと考えています。

送金先：〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 御茶ノ水 HY ビル（茶州ビル）9F

日本科学者会議気付

原水爆禁止 2015 年世界大会・科学者集会実行委員会

郵便振替口座 00180 - 8 - 86906

口座名 日本科学者会議

**原水爆禁止 2015 年世界大会・科学者集会 in 山口 実行委員会**

大和田正明(JSA 山口/地質学), 甲斐綾子(JSA 山口/物質工学), 笠野裕修(JSA 山口/物理学), 鴨崎義春(山口大学教職員組合), 下司寛(原水爆禁止山口県協議会), 佐藤克春(JSA 社会的活動部/経済学), 澤井長雄(JSA 山口/鉱物学), 田頭昭二(JSA 山口/化学), 滝野正二郎(JSA 山口/歴史学), ◎田澤輝武(JSA 山口/物理学), 田中秀平(JSA 山口/植物病理学), 新沼浩太郎(JSA 山口/天文学), 濱田盛承(JSA 山口/食品物理化学), 藤原勇(JSA 山口/高分子化学), ○増山博行(JSA 山口/物理学), 松原幸恵(JSA 山口/憲法学), 村上良子(JSA 山口/化学), 森下徹(JSA 山口/歴史学), 森田昌行(JSA 山口/応用化学), 山本善積(JSA 山口/住居学), 吉村高男(JSA 山口/物理学)

◎実行委員長, ○事務局長, JSA は日本科学者会議の略記, 6 月 13 日現在